

# 「躍動 連携 地域力 とうのしょう」

新年あけましておめでとうござい  
ます。町民の皆さまには、新春を健  
やかにお迎えのこととお喜び申し上  
げます。昨年は、皆さまのご支援に  
より、町制施行70周年記念式典をは  
じめ、各種事業を滞りなく執行する  
ことができました。厚く御礼申し上  
げます。

「東庄」という町名は、平安時代か  
らの地名であったことが由来であり  
ます。東氏の莊園として栄えてきた  
ことなど、改めて町の歴史を皆さま  
に知つていただきたいと歴史シンボ  
ジウムを開催しており、2月が第3  
回目となります。

また、教育面では、地域とともに  
ある学校づくりを目指して、コミュ  
ニティ・スクール活動を行っており  
ます。昨年10月には、中学生・高校  
生から町議会議員、保護者、教員な  
ど大勢の参加者により、コミュニニ  
ティ・スクールによる協議会を実施  
しております。そして、将来を見据  
えた教育について意見が交わされま  
した。さらに、活動の一環として、  
東庄町と歴史的つながりの深い岐阜  
県郡上市の小学生と、東庄小学校と  
のデジタル交流も順調であります。

「東氏」の縁で結ばれた市と町が、今  
後もさまざまな形でお付き合いをし  
ていけるよう望んでおります。  
さて、本年は第6次東庄町総合計  
画 後期基本計画の最終年、総仕上  
げの年となります。

「躍動」 住民の活力ある暮らしや  
すいまち

「連携」 住民と地域と行政による  
協働と支え合い  
「地域力」 まちづくりの源泉とな  
る地域が持つている力

これららの言葉を基本として、平成  
29年度から人々が安心して暮らし続  
けていくための施策を行つてまいり  
ました。各分野別施策を点検し、基  
本計画で掲げた目標を達成するよう  
事業を進めております。

これからも社会環境の変化に合わ  
せて、デジタル技術の活用とデジタ  
ル人材の育成に取組み、ニーズに的  
確に対応できるよう、推進してまい  
ります。

「水と緑と歴史」のまち・ふるさと  
だけるまちづくりの実現を目指し、  
これからも邁進してまいる所存です。  
結びに、本年が皆さんにとって明  
るく幸多き年となりますようご祈念  
申し上げ、ご挨拶とさせていただき  
ます。



## 「守り」から「未来の投資」へ 実績に裏打ちされた、

### 新しい東庄のカタチ。

新年あけましておめでとうござい  
ます。町民の皆さまにおかれまして  
は、穏やかな新春をお迎えのことと  
お慶び申し上げます。

このたび、東庄町議会議長に就任  
いたしました柳堀忠です。歴史ある  
本町議会の代表として、その職責の  
重さに身の引き締まる思いであると  
ともに、町民の皆さまの負託に応え  
るべく、全身全霊で町政の発展に尽  
くす所存です。

いま、私たちの町は大きな分岐点  
に立っています。人口減少や少子高  
齢化は、もはや先送りできない「静  
かなる有事」として私たちの目の前  
にあります。しかし、私はこれを悲  
観するだけでは終わりたりませ  
ん。国道356号バイパスの開通や成田  
空港の機能強化など、東庄町には今、  
かつてない「好機」が訪れているから  
です。

この風を捉え、未来を切り拓くた  
めに必要なこと。それは、これまで  
の「守り」の姿勢から、「未来への投  
資」と大きく舵を切ることです。本  
町の財政は、先人たちの堅実な運  
営により健全な状態が保たれています。  
しかし、データを見れば、自由  
な挑戦がしにくい「硬直化」の足音  
が近づいていることも事実です。だ  
からこそ、今ある財政的な余力と信  
用を、座して待つためではなく、未

議会としても、単なるチェック機  
関にとどまらず、クリエイティブな  
政策提言の場へと進化せねばなりません。「何もない」とあきらめるのではなく、視点を変えれば「ないからこそ創れる」という気概を持つて。  
町民の皆さまの声を聴く「対話」を重ねながら、前例にとらわれない「挑戦」を後押しする、開かれた議会を目指してまいります。どうぞ温か  
いご支援とご協力を賜りますようお  
願い申し上げます。

結びに、町民の皆さまのご健康と  
ご多幸を心よりお祈り申し上げ、新  
年のご挨拶とさせていただきます。

東庄町議会議長  
柳堀 忠

東庄町長  
岩田 利雄

新  
年

新

度

達

新年あけましておめでとうござい  
ます。町民の皆さまにおかれまして  
は、穏やかな新春をお迎えのことと  
お慶び申し上げます。

このたび、東庄町議会議長に就任  
いたしました柳堀忠です。歴史ある  
本町議会の代表として、その職責の  
重さに身の引き締まる思いであると  
ともに、町民の皆さまの負託に応え  
るべく、全身全霊で町政の発展に尽  
くす所存です。

いま、私たちの町は大きな分岐点  
に立っています。人口減少や少子高  
齢化は、もはや先送りできない「静  
かなる有事」として私たちの目の前  
にあります。しかし、私はこれを悲  
観するだけでは終わりたりませ  
ん。国道356号バイパスの開通や成田  
空港の機能強化など、東庄町には今、  
かつてない「好機」が訪れているから  
です。

この風を捉え、未来を切り拓くた  
めに必要なこと。それは、これまで  
の「守り」の姿勢から、「未来への投  
資」と大きく舵を切ることです。本  
町の財政は、先人たちの堅実な運  
営により健全な状態が保たれています。  
しかし、データを見れば、自由  
な挑戦がしにくい「硬直化」の足音  
が近づいていることも事実です。だ  
からこそ、今ある財政的な余力と信  
用を、座して待つためではなく、未

議会としても、単なるチェック機  
関にとどまらず、クリエイティブな  
政策提言の場へと進化せねばなりません。「何もない」とあきらめるのではなく、視点を変えれば「ないからこそ創れる」という気概を持つて。  
町民の皆さまの声を聴く「対話」を重ねながら、前例にとらわれない「挑戦」を後押しする、開かれた議会を目指してまいります。どうぞ温か  
いご支援とご協力を賜りますようお  
願い申し上げます。